

平成 20 年度第 5 回（8 月）理事会議事録

- ◇ 日 時：平成 20 年 8 月 14 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 15 分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、荒木、高橋、井戸田、出野、宮野、
酒井、栗本、山西、小宮山、東野、村上、事務（仲野）
- ◇ 欠席者：大垣、田畑、山田
- ◇ 議 長：今井

【 討議内容 】

I. 行動報告（7 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 平成 20 年度地区・都道府県会長会議が 7 月 12 日に日本臨床検査技師会館で行われた。富永副会長より公益認定を見据えた組織整備について、「支部に関する検討内容（定款諸規定検討委員会）」に基づき説明があった。新公益法人制度に向けての重要事項であり、支部の位置づけを明文化したものであるが、当日は各地区・都道府県の意見調整に留まった。

2. 近臨技

- ・ 会長会議を 8 月 10 日京臨技事務所にて開催した。
日臨技の下部組織として、今年度も引き続き JICA 関連事業を執り行う。
- ・ 「21 世紀を担う臨床検査技師実践セミナー・2008 兵庫」が 10 月 18 日 9 時より兵庫医療大学で開催される。

3. 事務局

〈総務部〉7 月 16 日に部会を開催した。

- ・ 「大臨技会報（通巻 194 号）」の最終校正を行った。
- ・ 印刷会社への今後の対応について検討した。
大臨技ニュース 10 月号より新規印刷会社のフジイ・カラープロ（株）が担当する。
- ・ 「大臨技会員名簿（平成 20 年 8 月 1 日現在）」の作成スケジュールについて検討した。
- ・ 「年輪」の作成について検討した。
各担当者に特集記事の原稿依頼を完了し、文字数は 1000 文字程度、締め切りを 10 月頃とする。
- ・ 大臨技ホームページの新規企画について討議した。

〈広報〉

- ・ 大臨技ニュース 8 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計〉7 月 16 日に部会を開催した。

- ・ 会計部創設にともなう改訂版「組織運営規程」の作成を行い、大臨技会報（通巻 194 号）に掲載をした。
- ・ 平成 19 年度事業報告書を作成し、大阪府庁に提出した。

- ・ 6 月度収支計算書を作成した。
- ・ 日臨技へ 6 月分会費の送金を行った。

〈渉外部〉 7 月 15 日に部会を開催した。

- ・ 献血活動（8 月 9 日・難波グリーンガーデン）について、広報および活動の打合わせを行った。
結果報告は、当日の受付 83 名および採血 69 名であった。
- ・ 合同フォーラム（平成 21 年 1 月 17 日開催）の打合わせ会議（9 月 2 日）の内容説明と準備について話し合った。場所は大阪市立中央青年センター（森之宮）に決定した。
- ・ 府民健康フォーラム（11 月 22 日）の進捗確認を行った。
- ・ 手話講演会の進捗確認を行った。
- ・ 日臨技公益事業活動への申請について討議した。

4. 事業局

〈情報組織部〉 7 月 9 日に部会を開催した。

- ・ 収支管理研修会（7 月 12 日・住友病院）の最終打ち合わせとテキストの作成を行った。
参加者は会員 26 名・賛助 16 名で計 42 名と他研修会と重なり若干少なかった。
- ・ 新入会員研修会（8 月 16 日・大阪府立成人病センター）の内容の検討を行った。

〈地区事業部〉 6 月 17 日に部会を開催した。

- ・ 6 月 21 日大阪中央会館で開催した第 11 回大臨技フォーラムの反省会を行った。
- ・ 会員交流会（9 月 13 日・JICA 大阪）について話し合った。
- ・ 7 月 26 日大阪府立成人病センターで開催した第 23 回中央支部自由集会の参加者は、約 80 名であった。

〈学術部〉

- ・ 7 月 19 日関西医大枚方病院で開催した第 3 回大臨技教育セミナーの参加者は 177 名であった。
- ・ 第 12 回大臨技フォーラムは 9 月 20 日あべのメディックスにて開催する。
テーマは「緊急検査、その式」とし、症例をもとにディスカッションを行う。

III. 他、報告

1. 西アフリカ圏臨床検査研修会（7 月 12 日）の報告

- ・ 「2008 年度仏語圏アフリカ臨床検査技術コース研修会日程」（研修期間 8/4～10/27）に従い内容説明があった。
- ・ 大臨技主催として 9 月 13 日に JICA 大阪にて会員交流会が開催される。

2. 会員交流会の進捗状況について

- ・ 9 月 13 日（土） 15：40～ JICA 大阪にて開催される。
- ・ 内容

第 1 部：JICA 大阪の見学と会員交流会。

第 2 部：仏語圏アフリカ諸国の研修員を囲んだ異文化交流会。

第 3 部：懇親会を予定。

50 名程度の参加を予定、予算の範囲で参加者への景品・贈呈品等も検討中である。

3. 第 4 回府民健康フォーラムの進捗状況について

- ・ 11 月 22 日（土）14 時～17 時 大阪 YMCA 国際文化センターにて開催。

テーマは「運動療法とメタボリックシンドローム～メタボといわれたあなた」。

- ・ 13時から14時まで各団体による相談コーナーを設けるが、事前に小冊子の準備、打ち合わせ等を行う必要がある。
 - ・ 今回初の試みとしてフォーラム終了後、3団体（薬剤師会、臨床検査技師会、栄養士会）との懇親会を設ける。
4. データ標準化事業（8月プレサーベイ）の進捗状況.
- ・ 8月3日大阪市立大学医学部附属病院にてボランティア17名により一人あたり40の採血を行いプレサーベイ用のサンプルを作成、宅配業者に渡すまで3時間程度と迅速に作業が終了した。
 - ・ 8月4・5日を測定日としたが、Web上の入力画面の不都合や、試薬メーカーコード表の漏れがあったなどの問題点も生じたが、現在順調に進行している。中島氏が取りまとめを行い、次回8月20日の会議で報告を行う。
 - ・ 参加施設は現在57施設、基幹施設・メーカーで17施設、計74施設だが、17日の締め切りまでには100施設位と予測される。
 - ・ 10月14日のデータ標準化事業本番に向け、理事にも採血ボランティアとして協力の要請があった。
 - ・ 施設でのサンプル配送料内訳に、箱代・フィルター代の一部を切り上げて負担願う場合は、事前に連絡して了承をいただく必要がある。
5. その他
- ・ 日本臨床検査薬協会によるプロモーション地区委員会が7月29日に開催された。今井会長よりプロモーションについてのQ&Aを、いくつかの事例を参考に説明があった。
 - ・ 公益法人移行委員会は、今後常務理事会メンバーで進めていくこととする。

IV. 議 題

1. 近臨技の支部化について

- ・ 支部化に向け、近臨技でもプロジェクト委員会を立ち上げ、各府県との意見調整を図っていく。
- ・ 予算、助成金等の経済面において地区間差が生じることが今後の課題である。
- ・ 次回近臨技理事会（9月10日）にて公益法人意見交換会も併せて開催をする。

2. その他

- ・ 中央支部自由集会において以下の提案がなされた。
平成20年度の診療報酬改訂により、細菌検査における検体検査管理加算に24時間迅速微生物検査が院内で出来ることに伴い、グラム染色・坑酸菌染色の手技について研修会を大臨技主体で定期的に行って欲しいとの要望が出された。
現在、学術部の微生物検査部門でも「ゼロからの塗抹鏡検」というテーマの研修会が開催していることもあり、学術部が主体となり今後このような研修会を継続して開催する方向にまとめていくこととする。
- ・ 地区事業部よりポインターの購入の要望があり、これを承認した。
- ・ 学術部より「臨床検査科の標榜」について、臨床検査医学会に原稿を依頼しニュースに掲載する旨の報告があった。